

第2回 越谷市新庁舎建設基本設計に係る市民ワークショップ

1. 第1回の結果報告

(1) 開催概要

開催日時	平成29年8月5日(土) 午後1:30~3:30
会場	越谷市役所5階第1委員会室
参加者数	26名(3名欠席)
主な内容	(1) 市民ワークショップについて (2) これまでの経緯と計画概要 (3) ワークショップ(テーマ別意見聴取、意見整理、発表) (4) コーディネーター講評

(2) 当日の様様



● 総合ファシリテーターによる進行



● ワークショップの進め方等説明



● 各グループの意見傾向整理



● Aグループの発表



● Bグループの発表

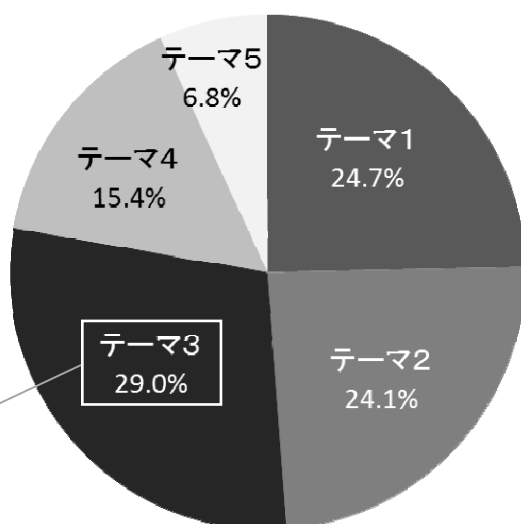


● コーディネーターの全体講評

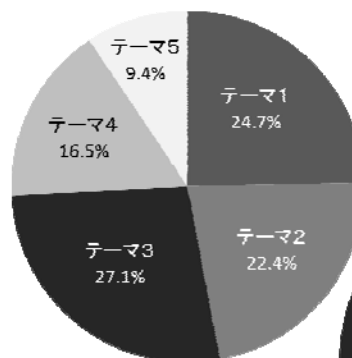
(3) 開催概要

- ・市民ワークショップ全体のご意見・ご提案の総数は、162（Aグループ：85、Bグループ：77）でした。
- ・「テーマ3：市民協働ゾーン」に対するご意見・ご提案が、全体の約3割と最も多くなっており、参加者の関心の高さが伺えます。
- ・次いで、「テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ」、「テーマ2：市民の利便性」に対してのご意見・ご提案が、いずれも全体の4分の1程度となっています。
- ・テーマ1については、「越谷市第四次総合振興計画」に掲げられた本市の将来像のキーワードである「水・緑・太陽」のイメージが大切、越谷の伝統・文化や和のデザインの採用、越谷らしい色やモチーフを取り入れるなど、庁舎のデザインに対するご意見・ご提案が最も多くありました。また、整備コストやユニバーサルデザインに関するご意見・ご提案も、比較的多くありました。
- ・テーマ2については、多様なご意見・ご提案がある中、コンシェルジュ等を配置した総合案内等サービスの向上、使いやすい駐車場の確保、開庁時間の延長などが比較的多くありました。
- ・テーマ3については、特に、飲食や物産販売の場の確保や市民活動の場・発信の場としての活用に対するご意見・ご提案が多くあったほか、概して、だれもが気軽に利用でき、快適に憩い・集える場として機能することが求められています。
- ・テーマ4については、防災拠点としての十分な機能確保をはじめ、空調システムや庁舎全体でのCO2削減など、環境への配慮に対するご意見・ご提案が多くありました。
- ・テーマ5については、協働での維持管理、新庁舎建設に係る情報の発信、現越谷市民活動支援センターとの関係など、ご意見・ご質問等がありました。

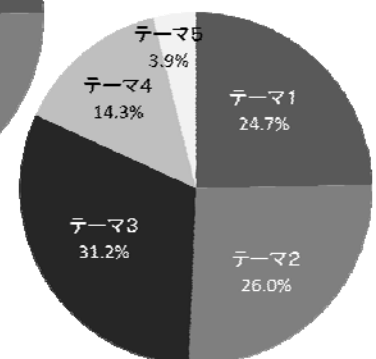
【全体】



【Aグループ】



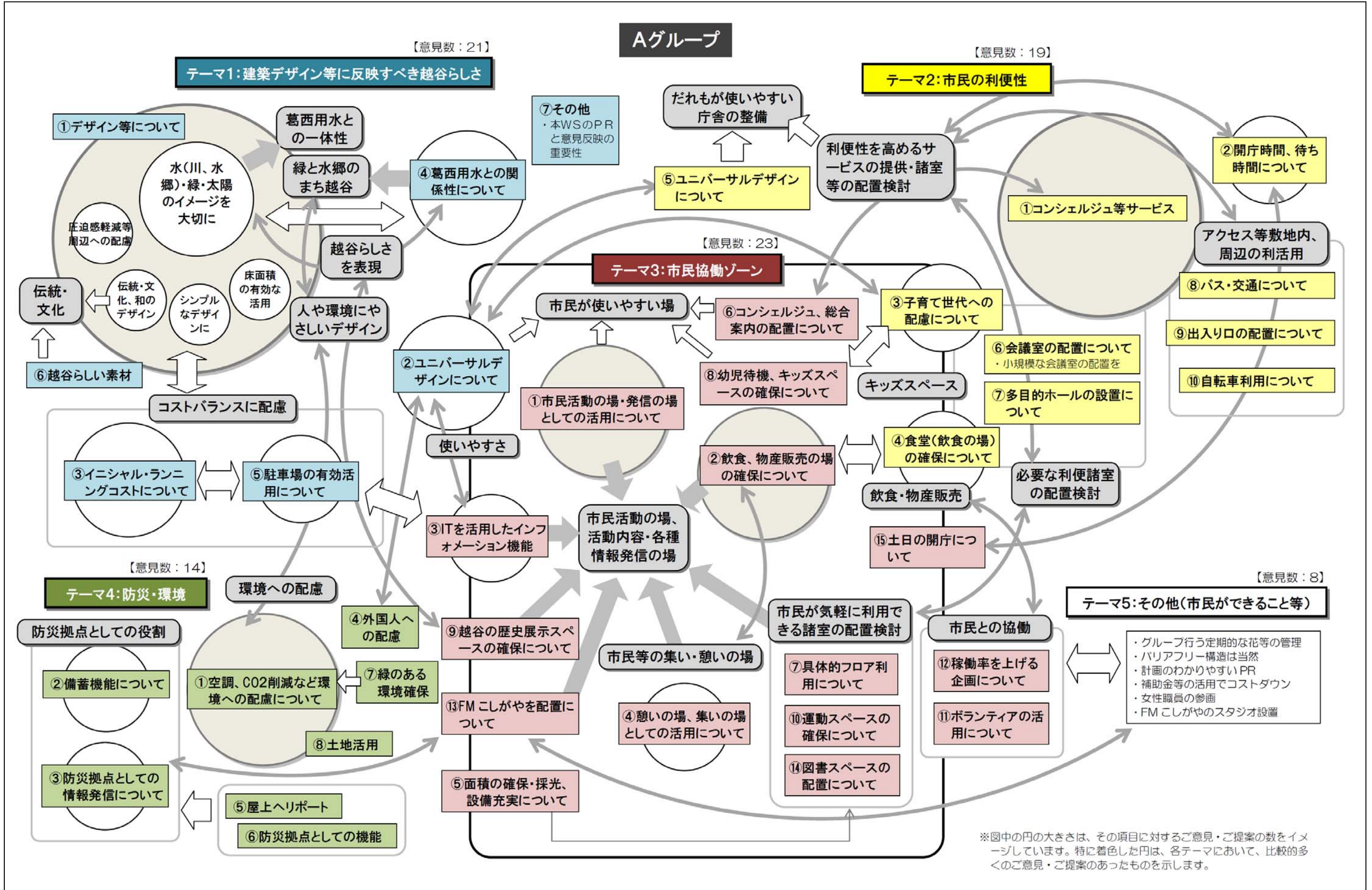
【Bグループ】

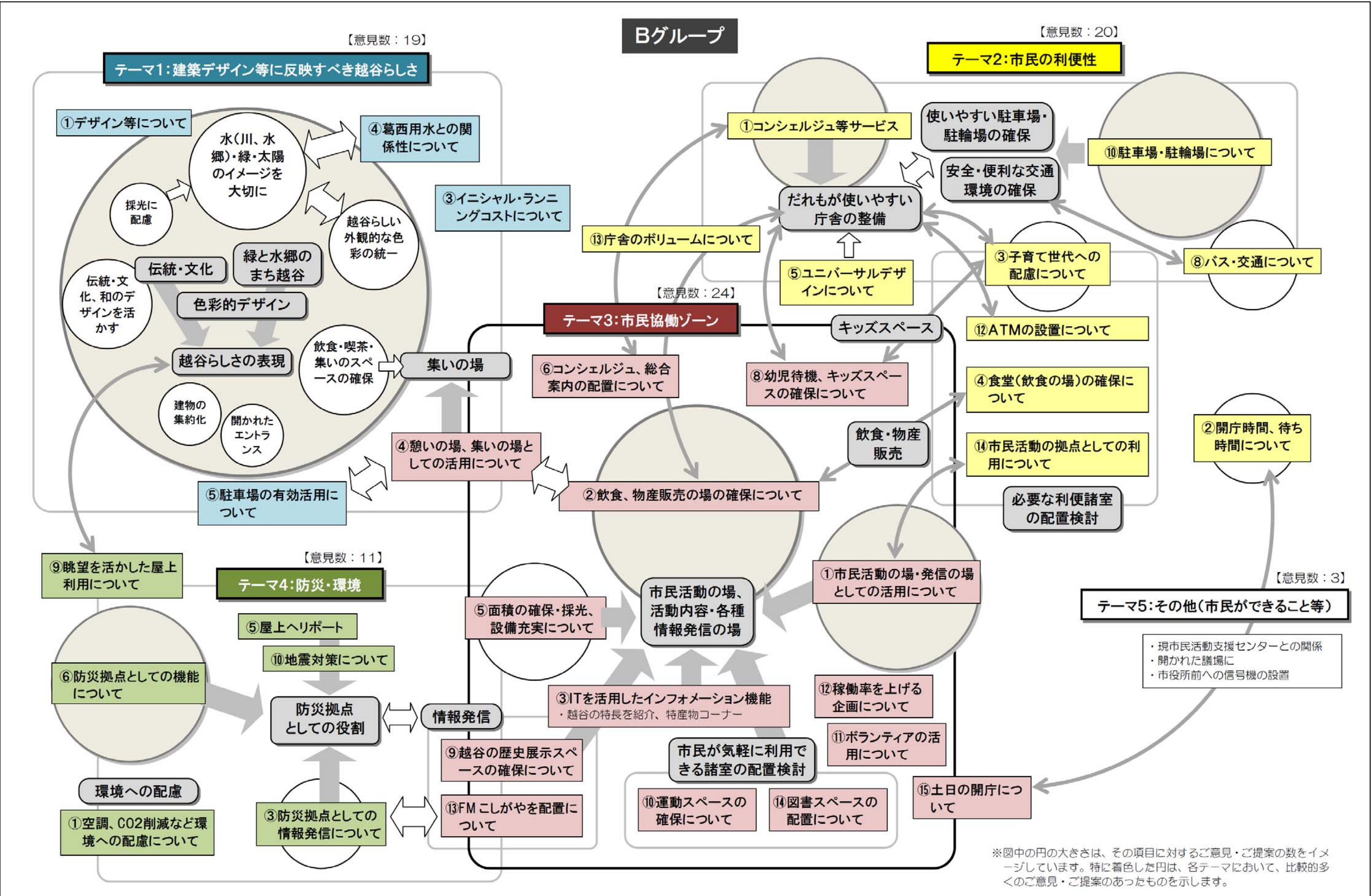


- **テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ**
- **テーマ2：市民の利便性**
- **テーマ3：市民協働ゾーン**
- **テーマ4：防災・環境**
- **テーマ5：その他(市民ができること等)**

- ・Aグループでは、テーマ3に対するご意見・ご提案が約27%と最も多く、次いで、テーマ1、テーマ2の順に多くなっています。
- ・Bグループも、テーマ3に対するご意見・ご提案が約31%と最も多く、次いで、テーマ2、テーマ1の順に多くなっています。

(4) グループ別提案整理





(5) テーマ別グループ別個別意見整理一覧

グループ	意見・提案	意見数
	意見総数 Aグループ：85 Bグループ：77	162
	テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	40
A グ ル ー プ	①デザイン等について	7
	-1 水（川、水郷）・緑・太陽のイメージを大切に	3
	水郷越谷を活かす。	
	緑と水郷のまちならではに、各庁舎に緑を取り入れてほしい。	
	庁舎西側に、西陽対応として緑をとりいれよう。	
	-2 伝統・文化、和のデザインについて	1
	本庁舎の建設は、最新のデザインの中にも、伝統や文化的デザインを取り入れたい。	
	-3 シンプルなデザイン	1
	シンプルなデザインに。	
	-4 圧迫感軽減等周辺への配慮	1
	市庁舎の外観は、圧迫感のないデザインとしてほしい。周辺住宅等に太陽の反射光を押さえることが必要。	
	-5 有効な床面積の使い方	1
	市民協働ゾーンは、吹き抜けにすると面積が減るので、吹き抜けにしないでください。	
	②ユニバーサルデザイン	4
	国際化、観光のため、インフォメーションセンターの設置を。	
	案内表示板の国際化を。東京メトロと同じような、日本語、中国語、韓国語の表示板をつくる。	
	フレンドリーな窓口デザインを。各課のカウンターの高さは、市民の利便性を考慮し、高すぎないように。	
	障がい者に対して、バリアフリー化してほしい。	
	③イニシャル・ランニングコストについて	3
	デザインに費用はかけない。耐震・耐久に費用をかける。	
	今後は人口減なので、経費はおさえる。	
庁舎は、将来の修繕・改修をしやすいものとしたい。		
④葛西用水との関係性について	3	
川と一体的なイメージのデザインを。川と庁舎の間に道路がはさんでおり、一体感を阻害している。道路を越え、川とつながるデッキのような、幅の広い構造物で一体化したい。		
川を感じられる開口部とする。川に面した側の1、2階部の窓などは、高い天井をもち、川側の窓は、前面窓とし、川との一体感を感じられるようにしたい。		
ウェルカムゲートについて、3階つつめけの水辺風景で、開放感を持たせる。ガラスばりて葛西用水が見えるようにする。		
⑤駐車場の有効活用について	2	
建物をより高層にして、駐車スペースを多く造る。駐車スペースは、催し物の会場にするとき有効。		
駐車場スペースを有効活用するため、駐車場を地下にしようか。地上スペースは、市民憲章にある「水と緑と太陽に恵まれた豊かな～」を生かした庭園を作る。芝生だけのシンプルなものも可。		
⑥越谷らしい素材	1	
なにか、市内材を活かしたい。内装材を、市内にあるもので活かせるものがないか。久伊豆神社参道の木と同種のもの一部植えるなど。		
⑦その他	1	
建築デザインのわかりやすい事前進行を。「ワークショップの様子を市のHPにのせて、より多くの市民に関心をもってもらおう。」と言われたことは素晴らしい。現本庁舎の中に、それらの意見をとりいれると、この様になるという、分かりやすいモデル模型を展示したい。		
	Aグループ小計	21

B グ ル ー プ	①デザインについて	16
	-1 水（川、水郷）・緑・太陽のイメージを大切に	4
	建物の中に、越谷の木を植える。自然が多いイメージがあれば、市民も利用しやすくなると思う。	
	庁舎・建築物について、緑の多い空間に。	
	協働ゾーンの建物デザインについて。越谷は、水と緑と自然溢れる都市だと思うので、自然採光、水、緑の配置によって、明るく開放的で自然あふれるスペースにしてほしいと思う。	
	水と緑と太陽のまち越谷として、水と緑を意識し、隣接する川とウッドデッキを一体化した市役所に。	
	-2 伝統・文化、和のデザインについて	3
	駅前に出来た「ガーヤちゃんの蔵屋敷」と、越谷宿を意識した和のデザインに。	
	庁舎について、しらこぼとをモチーフにしたデザインに。	
	イメージづくりのための資料にある格子は、8F、7Fの上階には不必要。	
	-6 越谷らしい外観的な色彩の統一	3
	本庁舎の色について、本庁舎、第二、第三共に、出来上がりの色を統一する。	
	壁の色を、水郷らしい水色などに。	
	水と緑のまちにふさわしい外観、色使いにしてほしい。	
	-7 飲食、喫茶、集いのスペースの確保	3
	市民が集えるホールについて、収容人数300名位のコミセン「ポルティコ」以上の、500名ぐらいで会食できるスペースがほしい。	
	市民の喫茶スペースがほしい。	
	市民が集まり易い、行き易い雰囲気を作って欲しい。	
	-8 建物の集約化	1
	建物をまとめる。第二、第三を取り壊して本庁舎にまとめ、8階建てでなくもっと高くする。倍の15階建てでもよい。	
-9 開かれたエントランスづくり	1	
市民が入りやすいエントランスづくりを。		
-10 採光に配慮	1	
窓について、採光のためのガラス窓(強化ガラスも含めて)は？壁が必要と思う。		
③イニシャル・ランニングコストについて	1	
市民協働ゾーンについて、新庁舎は越谷市の顔となる建物。防災対策で越谷らしさを出すには、35万円/㎡ではいかがなものか。アッパーで45万円/㎡としてはどうか。		
④葛西用水との関係性について	1	
ウッドデッキと市役所の間に道路があり寸断されてしまうため、この道路をなんとかしたい。		
⑤駐車場の有効活用について	1	
イベント広場等にも有効に使える、駐車スペースの配慮を。		
	Bグループ小計	19

	テーマ2：市民の利便性	39
A グ ル ー プ	①コンシェルジュ（案内）、窓口・予約サービス等の向上について	6
	コンシェルジュの充実を。	
	内部各担当課に、総合窓口制度を取り入れて市民の利便性をアップする。	
	窓口機能について、個人的な相談を受け付けられるような個室をとりいれたい。	
	市民病院にボランティア窓口を。多くの会社勤めの方がリタイア先に困っている。ボランティア窓口がより分かりやすくなるような工夫を。(市民課からの流れ)	
	介護や、こどものために、駅前の市民活動支援センターに行っているが、今回新スペースを工夫して、保育園等、市民が来ざるを得ない統一センター機能を持った施設を。	
	窓口接客スペース。手続き、一般的相談、秘匿性のある相談など、レベルに応じた対応ができるようにしたい。ただの仕切りでは声が聞こえてしまう。	
	②開庁時間、待ち時間について	2
	庁舎の開閉時間、特に閉庁時間を延長してほしい。例えば21時まで。	
	市庁舎の開閉時間を柔軟にしてほしい。朝窓口7:00～、夜窓口10:00まで(9:00ぐらいでも可)。土日開庁。	
	③子育て世代への配慮について	2
	子育て中のママ、パパに、保育士や保育室がほしい。	
	子育てスペース、保育スペースを。	
	④食堂（飲食の場）の確保について	2
	食堂、レストランがあったらいいなあ。	
	子ども食堂に利用できる食堂を設置してほしい。	
	⑤多言語表示等ユニバーサルデザインについて	1
	全体について、外国の方に表示がすぐわかるような、全てにわたる多言語の提示を。	
⑥会議室の設置について	1	
小規模な30人前後が使える会議室を、設置してほしい。		
⑦多目的ホールの設置について	1	
防音設備のある多目的ホールを設置してほしい。		
⑧バス・交通について	1	
利用者に対する安全性について、バス停を敷地内に設け、待機環境も用意する。		
⑨出入口の配置について	1	
出入口について、中央玄関もよいが、南、中央、北といった作りはどうか。		
⑩駐車場・駐輪場について	1	
駐車場としてのスペースの拡大、確保を。		
⑪自転車利用について	1	
庁舎と葛西用水との間の道路を、自動車通行禁止のサイクルロード化する。		
	Aグループ小計	19

B グ ル ー プ	⑩ 駐車場・駐輪場について	5
	駐車スペースをもっと多くしたい。	
	駐輪場を平面だけでなく、2～3階建てに。駐輪場のスペースを多くする。	
	駐車場の敷地は、フラットにして、中央市民会館の広場と一体になるように。市民祭、市内一周駅伝の開・閉会式の会場。約4千人～6千人が集える空間に。	
	市民への駐車場の開放を。	
	待たなくてすむ、駐車場のスペースを。	
	① コンシェルジュ（案内）、窓口・予約サービス等の向上について	4
	窓口の呼び出し番号案内モニターを、複数の休憩場所に設置する。	
	市民の待ち時間の解消を。	
	市民のために、予約はWEB、SNSの活用を。	
	窓口が、現状は様々なフロアにまたがっているため、行き来が面倒なのでワンフロアにしてほしい。	
	② 開庁時間、待ち時間について	2
	特に市民協働ゾーンは、土日も開放して欲しい。	
	利用者を待たせない機能的な配置、設備、休憩所の設置を。	
	⑧ バス・交通について	2
	市役所を中心とした「足立区はるかぜ号12路線」のような、バス路線の充実を図る。	
	交通の便について、前の道が車通りが多くて行きにくいと感じる。	
	③ 子育て世代への配慮について	2
	市民が、気軽に訪問するために保育士がいる保育室がほしい。	
待ち時間などに、子どもが遊べる場所を。		
④ 食堂（飲食の場）の確保について	1	
市民のために、市の特産品の展示販売、軽食のとれる場所を。		
⑤ 多言語表示等ユニバーサルデザインについて	1	
市民のために、バリアフリーに。		
⑫ ATMの設置について	1	
ATMコーナーを設置。		
⑬ 庁舎ボリュームについて	1	
庁舎数を多くするより、2本を1本に集中した本体を。		
⑭ 市民活動の拠点としての利用について	1	
市民活動支援課を自治会・市民活動の拠点と考え、このスペースを広くし、出入りを自由にできるようにしたい。		
	Bグループ小計	20

テーマ3：市民協働ゾーン		47
A グ ル ー プ	①市民活動の場・発信の場（会議室・展示スペース等）としての活用について	4
	市民活動をする人、起業する人のために、パソコンで何でも検索できる部屋を間仕切りしてほしい。起業する人のための貸しスペースにもなる。	
	団体の活動を発信したい。	
	市民活動が一目でわかるような場の設置を。	
	市民の様々な活動について、創作活動や地域活動の発表の場として、活用したい。	
	②飲食、物産販売の場の確保について	4
	市民、市民活動団体のために、飲食設備、調理、販売が可能なスペースの設置。時間により子ども食堂や、サロンができるものを。	
	出店について、地元商店やブース出店を。	
	市民の運営する喫茶室の設置。	
	市民の憩いの場を。図書室・囲碁・将棋スペース、イートイン併設の気軽に入れるコーヒーショップなど。100円コーヒーやスイーツがあるとよい。	
	③ITを活用したインフィメーション機能について	2
	ITを駆使した越谷インフォメーション画面を備えた1室を設けてほしい。例えば、警察や消防が用いるコントロールスクリーンのように、地図を見てそのボタンをクリックすると、その公共施設での予定行事が見られるなど。	
	通路に展示するボードは、ITを駆使したスクリーンとする。行事ごとに変える必要が無い。	
	④憩いの場、集いの場として活用について	2
	市民の憩いの場を。温泉が出れば憩いの場となり、災害時にも活用できる。	
市民が、気軽に集まり活動できるように、長机や、丸机などを置き、ボードなども取り入れる。		
⑤面積の確保・採光、設備充実について	1	
市民協働ゾーンは、市民が使える面積をできるだけ多く希望します。		
⑥コンシェルジュ、総合案内の配置について	1	
市民が市民のために役に立ちたいと思う人の、市民のコンシェルジュデスクの配置。		
⑦具体的フロア利用について	1	
市民協働ゾーンには、1F フリースペース、2F オープンスペース、3F 防音スペーススタジオ(シアター、劇場)にしてほしい。		
⑧幼児待機、キッズスペースの確保について	1	
幼児をお持ちの両親に対して、幼児待機場所ルームを造ってほしい。		
⑨越谷の歴史展示スペースの確保について	1	
市民が親しむ空間に。市民がより越谷を理解し愛する場として、越谷の歴史、生活の移り変わり展示等により親しむゾーンを造れないか。		
⑩運動スペースの確保について	1	
体育館的な運動スペースをつくる。		
⑪ボランティアの活用について	1	
ボランティアの募集で、希望がさりげなく出来る場に。		
⑫稼働率を上げる企画について	1	
稼働率を、ほぼ365日としたい。そのための企画が必要。		
⑬FMこしがやの配置について	1	
FMこしがやを入れてください。		
⑭図書スペースの配置について	1	
人が集まるので、図書館を協働スペースに移動する。		
⑮土日の開庁について	1	
庁舎は、土日も開放してほしい。		
Aグループ小計		23

B グ ル ー プ	② 飲食、物産販売の場の確保について	6
	朝市のような、農産物を販売するイベントがあるといいと思う。	
	フードコートスペースを。	
	2階にフードコートなどの食堂を。	
	特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	
	市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等できるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	
	市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	
	① 市民活動の場・発信の場（会議室・展示スペース等）としての活用について	5
	市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保	
	市民が自由に使え、小会議等ができるスペースを。	
	市民の展示が可能なスペースがほしい。	
	市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	
	市民協働ゾーンに、和室会議室を作って頂きたい。	
	⑤ 面積確保・採光、設備充実について	3
	市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	
	市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたくさんはいるような明るいつくり。	
	市民・市民団体のために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	
	③ ITを活用したインフィメーション機能について	1
	越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	
	④ 憩いの場、集いの場として活用について	1
	フリーマーケットができるスペースを。	
⑥ コンシェルジュ、総合案内の配置について	1	
1階に総合案内所を。		
⑧ 幼児待機、キッズスペースの確保について	1	
協働ゾーンについて、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。		
⑫ コンビニの配置について	1	
1階にコンビニを。		
⑬ 雨天時の快適な利用について	1	
駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。		
⑭ 屋上利用について	1	
屋上を利用して頂きたい。		
⑲ バリアフリー対応について	1	
市民のために、バリアフリーに。		
⑳ 川側との一体的空間利用について	1	
ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。		
㉑ その他	1	
市民協働ゾーンは、どのような施設をつくれるのか知りたい。		
	Bグループ小計	24

テーマ4：防災・環境		25
A グ ル ー プ	①空調、CO2削減、太陽光利用など環境への配慮について	5
	庁舎全体に、空調及び冷暖などにエコをテーマとして取り入れるべき。	
	川風を利用した空調。川は涼風を呼ぶシステム。この川風を庁舎に取り込むよう、設計に折り込む。風の出入り口を温度に合わせてコンピュータでコントロールする。	
	コミュニティ・エネルギー・マネジメントについて、庁舎敷地内の全てのエネルギーを把握し、需給調整を行うことでエネルギーの効率化及びコストダウン、CO2削減を行う。	
	環境負荷の低減。	
	CO2削減目標の設定。庁舎の業務部門は、40%削減。それを目標にエネルギー・マネジメントを行う。	
	②備蓄機能について	2
	一般市民のための備蓄食料、倉庫を地下へ。	
	備蓄について、何をどのように確保するか明確にする。燃料の備蓄は、最初に決めておく必要がある。	
	③防災拠点としての情報発信について	2
	防災拠点を、市民に分かりやすく。	
	庁舎について、市民の避難者や帰宅困難者にとって、リアルな情報が得られる場になりたい。	
	④外国人への配慮について	1
	外国人のために、防災に関しては、やさしい日本語でわかるように表記を。	
⑤屋上ヘリポートの設置について	1	
防災のため、屋上にヘリポートを作ってほしい。		
⑥防災拠点としての機能について	1	
災害時のために、対策本部機能(本部室)、ヘリポート、仮眠室、シャワー等は確保するのか？		
⑦緑のある環境確保について	1	
環境について、緑や庭がある公園的空間を。		
⑧土地活用について	1	
ロケーションを見ると、現在の土地があるので、やはり工夫して設置できないか。		
Aグループ小計		14
B グ ル ー プ	⑥防災拠点としての機能について	4
	災害時に、本庁舎に宿泊できたら良い。	
	災害にも対応できる指令本部や、避難所としての機能を。	
	川と道路に囲まれて、災害時の集客保護は可能なのか？	
	ライフラインが全て遮断された場合に、行政機能を確保できる設備を設ける。自家発電、水ろ過装置、下水貯留槽など。	
	③防災拠点としての情報発信について	2
	せっかく出来たFMこしがやを協働ゾーンに設置し、いざ災害時に発信できるようにしたい。	
	地域FMの利点である、いち早い情報提供のため、FMこしがやの設置を。	
	②備蓄機能について	1
	災害時のための、非常食の備蓄を。	
①空調、CO2削減、太陽光利用など環境への配慮について	1	
ソーラーパネル等を利用した、環境を十分に生かした設備を。		
⑤屋上ヘリポートの設置について	1	
ヘリポートの設置を。		
⑨眺望を活かした屋上の活用について	1	
本庁舎屋上に、富士山が見えるスペースを設けていただきたい。		
⑩地震対策について	1	
地震対策として免震構造を。		
Bグループ小計		11

	テーマ5：その他（市民ができること等）	11
Aグループ	グループで、定期的に花等の手入れをする。	
	当然、バリアフリー構造にしてほしい。	
	FMこしがやのスタジオ設置を。	
	分かりやすい計画を発信してほしい。	
	補助金、交付金の最大限の利用について、現在ある補助金等を調べ、ちょっと手を加えれば採用できるもの、そのまま有効利用できるものをしっかり調査・活用し、コストダウンしてほしい。	
	現職員の声を聞き、活かしたい。職員が仕事をしやすいような職場として、どんな意見が出ているかをぜひ聞きたい。	
	水辺について、葛西用水への陸橋化や地下道化を。	
	今回の事務職員の席に、ぜひ女性職員も入れよう。全員男性ばかりで、驚きました。ぜひ、女性職員にも活躍してほしい。	
	Aグループ小計	8
Bグループ	現在ある越谷駅前の越谷市民活動支援センターについてはどうなるのか、計画はあるのか？	
	議会館について、他市町村から見学に来るような、特色を持たせた全ての市民に開かれた議場づくり。	
	市庁舎前の信号について。建物よりも市役所前の交差点の信号を、車がスムーズに通れるように。朝晩は右左折が難しいので。	
		Bグループ小計

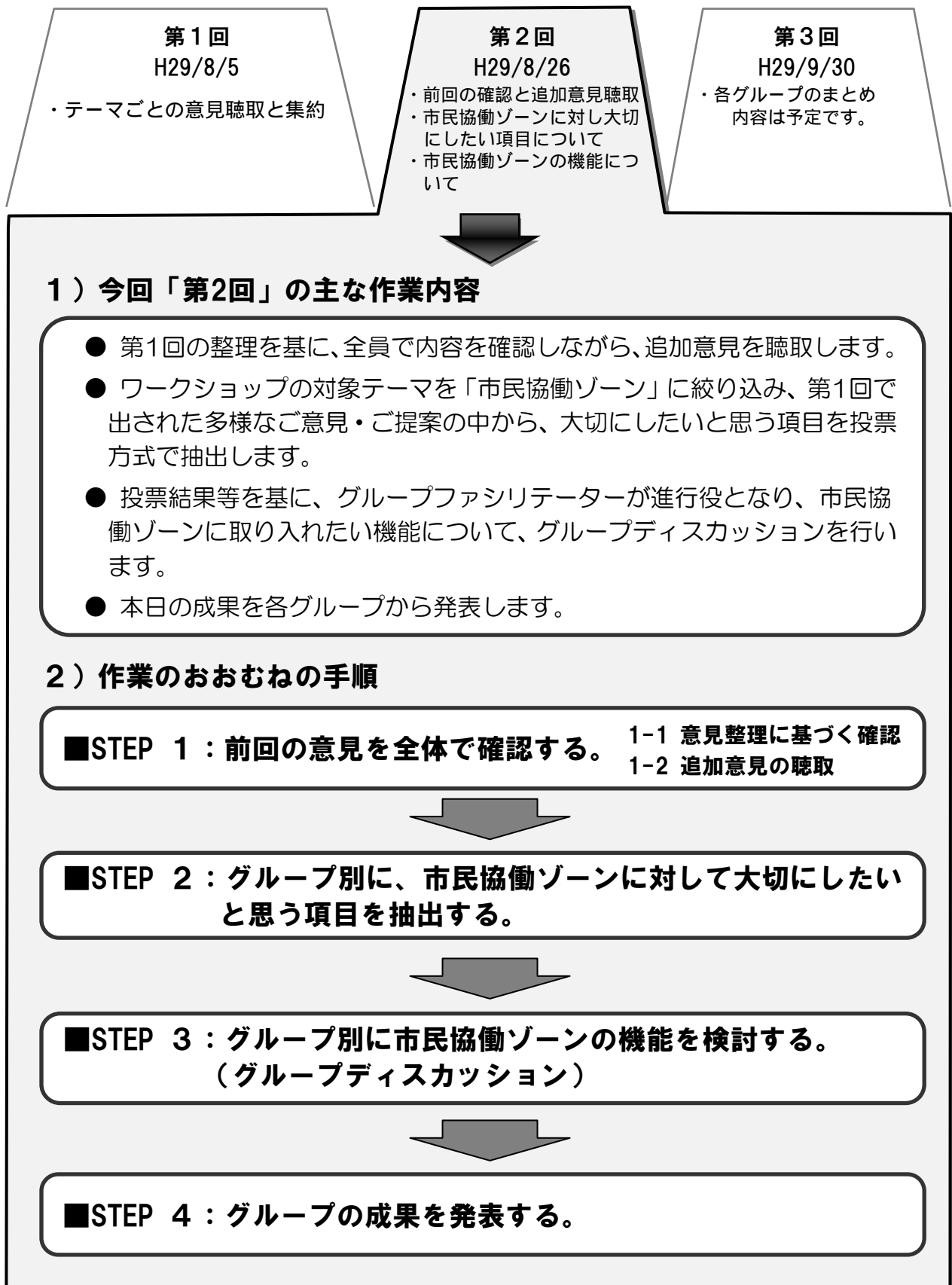
	Aグループ 「一言コメント」
<ul style="list-style-type: none"> ・50年後の未来に負荷をかけない建築に ・中核都市にふさわしい国際化を目指す ・耐久性を大事に ・ユニバーサルデザインの徹底 ・協働ゾーンに大きな期待 ・様々な人が使いやすい施設に ・用事が無くても行きたいと思える協働ゾーンにする ・市民のための施設として、ある程度お金をかけて整備する ・お金をかけすぎない ・市民、職員ともに使いやすい施設に ・使いやすい施設に ・入りやすい施設に 	

テーマ別グループ別意見数・割合

テーマ	Aグループ	Bグループ	合計
テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	21 24.7%	19 24.7%	40 24.7%
テーマ2：市民の利便性	19 22.4%	20 26.0%	39 24.1%
テーマ3：市民協働ゾーン	23 27.1%	24 31.2%	47 29.0%
テーマ4：防災・環境	14 16.5%	11 14.3%	25 15.4%
テーマ5：その他（市民ができること等）	8 9.4%	3 3.9%	11 6.8%
合計	85 100.0%	77 100.0%	162 100.0%

2. 第2回ワークショップについて

(1) 主な内容と手順



具体的な作業イメージは次頁に示します。

(2) ワークショップの具体的手順

■STEP 1：前回の意見を確認する。

- 前回のまとめ等を基に、前回みなさんから頂いたご意見・ご提案の内容を全体で確認するとともに、追加意見等を聴取します。



■STEP 2：グループ別に、市民協働ゾーンに対して、大切にしたい項目を投票により抽出する。

- グループ別に市民協働ゾーンに対する前回のご意見の内容を再確認します。
- その上で、各グループの市民協働ゾーンに対するご意見一覧表を投票用紙とし、大切にしたいと思う項目に、お一人10個まで○印を記入します。
- 投票用紙を回収し、休憩中にファシリテーターが集計します。

投票用紙
(ご意見一覧表)

■市民協働ゾーンに対する大切にしたいと思う項目投票用紙

テーマ3：市民協働ゾーンに対する提案項目【Bグループ】	記入欄
①市民活動の場・交流の場（会議室・展示スペース等）としての活用について	-
①-1 市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保	
①-2 市民が自由に使える、小会議等ができるスペースを。	
①-3 市民の展示が可能なスペースがほしい。	
①-4 市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	
①-5 市民協働ゾーンに、和室会議室を作りたい。	
②飲食、物産販売の場の確保について	-
②-1 都市のような、農産物を販売するイベントがあるといいと思う。	
②-2 フードコートスペースを。	
②-3 2階にフードコートなどの食堂を。	
②-4 特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	
②-5 市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等ができるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	
②-6 市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	
③ITを活用したインフォメーション機能について	-
③-1 越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	
④憩いの場、美しい場として活用について	-
④-1 フリーマーケットができるスペースを。	
⑤環境確保・景観・設備充実について	-
⑤-1 市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	
⑤-2 市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたぐさんような明るいつくりに。	
⑤-3 市民協働ゾーンのために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	
⑥コンビニの配置について	-
⑥-1 1階にコンビニを。	
⑧幼児・児童・高齢者のためのスペースの確保について	-
⑧-1 子育て支援として、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。	
⑨コンビニの配置について	-
⑨-1 1階にコンビニを。	
⑩雨天時の快適な利用について	-
⑩-1 駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。	
⑪屋上利用について	-
⑪-1 屋上を利用して頂きたい。	
⑫バリアフリー対応について	-
⑫-1 市民のために、バリアフリーに。	
⑬川側との一体的空間利用について	-
⑬-1 ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。	
※その他	-
⑰-1 市民協働ゾーンは、どのような施設をつくれるのか知りたい。	

大切にしたい項目に10個まで記入欄に○印をつけてください。

重要と思う
提案に10個
まで○印



■STEP 3：グループ別に市民協働ゾーンの機能を検討する。

- 集計結果を総合ファシリテーターから発表するとともに、その結果等を踏まえ、市民協働ゾーンの機能について、各グループ内においてディスカッション方式で議論し提案を整理します。



■STEP 4：各グループの成果を発表する。

- 本日の結果を、各グループの発表者から簡潔に発表してもらいます。
- 発表者は、前回の発表者以外の人から選出するようお願いいたします。